

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	納税課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2222
	基本事業	健全な財政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	ふるさと高松応援寄附促進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ふるさと高松応援寄附促進に係る事務			
概要	ふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、ふるさと高松応援寄附制度を、魅力あるものとし、より多くの方々から応援・寄附していただくよう努める。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	ふるさと納税制度を活用し、高松市に対して寄附をした人
意図（どのような状態にしたいか）	高松市が取り組んでいくまちづくりを応援していただけるよう、寄附金対象事業を積極的にPRすることで、寄附者を増やしていく。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
ふるさと高松応援寄附金使途対象事業選択数	件	3,213	1,772	1,218	6,415	6,415

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
ふるさと納税寄附人数	人	目標値	12,279	13,478	13,478	13,478	13,478
		実績値	8,783	6,581	4,390		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） お礼品競争の過熱に対する国の通知があったが、返礼割合が国の通知の基準を超える自治体へのかけこみ寄附などにより、目標値を下回った。 （目標達成度）						(達成度) 32.6% 11点	
ふるさと納税寄附金額	千円	目標値	184,000	200,000	200,000	200,000	200,000
		実績値	131,455	124,617	104,875		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新たなお礼品の採用や、クラウドファンディングなどに取り組んだが、目標値を下回った。 （目標達成度）						(達成度) 52.4% 18点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]	67,542	69,659	56,369	70,891
（事業費）	[千円]	55,765	58,278	45,026	59,548
（職員人件費）	[千円]	11,777	11,381	11,343	11,343

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

制度の趣旨を遵守しながら、より多くの方々から応援していただけるよう、寄附金使途となる事業をホームページ等の活用により積極的にPRするとともに、お礼品の追加・見直しなどを行ったほか、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング「世界盆栽プロジェクト～高松が切り拓く世界のBONSAI」を実施した。しかし、寄附人数、寄附金額ともに目標、前年度実績を下回ったことから、国の基準に適合した内容としながら、より多くの人に情報を発信する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

ふるさと納税制度の趣旨を踏まえた上で、お礼品の見直しや新しいお礼品の開拓等を行い、本市ふるさと高松応援寄附制度を魅力あるものとしていく。またより多くの人に情報を発信するために、既存のサイトに加え、新たなふるさと納税ポータルサイトにも掲載を行う。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	競輪場事業課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-851-5036
	基本事業	健全な財政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	競輪事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

本事業は、自転車競技法に基づく公営競技であり、開催者は地方自治体である。運営統括を公益財団法人JKAが行い、車券売収入の75%が配当金に充てられ、残りの25%から(公財)JKAへの納付金・運営委託費及び選手賞金等の開催運営に差引いた残りが収益金となる。本市の一般会計へ繰出しを行っている。また、(公財)JKAは、自転車競技法に基づく競輪振興法人として、競輪の収益を広く社会に還元し、社会貢献を果たすため本市を始めとする自治体からの納付金を機械工業振興の補助、公益事業振興の補助に充てている。

3年度概要	本場 記念 1節 4日	FI 6節 18日	F 1節 3日	モーニング 5節 15日	MD 4節 12日
-------	-------------	-----------	---------	--------------	-----------

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	(公財)JKAを通じて競輪収益による自転車その他機械の改良や輸出の振興など機械工業振興及び体育事業など公益事業振興を図るとともに、本市財政の健全化を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
本場・場外開催日数	日	351	348	353	351	351

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
車券発売収入	千円	目標値	14,420,000	13,053,108	13,490,000	11,870,000	11,870,000
		実績値	13,800,340	12,833,475	13,470,003		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 記念競輪(G)及び枠外開催したFが、目標額を下回ったが、その他のF、Fミッドナイト競輪については目標額を上回った。特にF開催ではモーニング競輪を4節開催したことで大幅に目標額を上回った。	(目標達成度)		(達成度) 99.9%				
							34点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[千円]	13,906,424	13,267,424	13,684,075	12,331,883
(事業費)	[千円]	13,804,361	13,168,793	13,585,769	12,233,577
(職員人件費)	[千円]	102,063	98,631	98,306	98,306

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

本事業は、売上向上やコスト縮減などの経理努力により、平成24年度以降継続して一般会計に繰出しを行っている。そのため、本市の健全な財政運営の推進に必要であり、事業継続は妥当である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

臨時従業員の退職者の補充を、引き続き行わないとともに、業務契約の見直しによるコストの縮減を継続して行う。